



相談してみたいと思ったら…

自分で相談することが難しい場合は、周りの人々に話してみよう。

●市町村の相談窓口

愛知県内の市役所・町役場・村役場の相談窓口の電話番号をホームページで紹介しています。



●児童相談所相談専用ダイヤル [24時間・年中無休]

☎ 0120-189-783 (お近くの児童相談所につながります)

●24時間子供 SOS ダイヤル [24時間・年中無休]

☎ 0120-0-78310

●子どもの人権 110 番 [平日 8:30 ~ 17:15]

☎ 0120-007-110

監修 野尻紀恵（日本福祉大学社会福祉学部教授）

愛知県福祉局児童家庭課

電話 052-954-7468 FAX 052-971-5889 e-mail jidoukatei@pref.aichi.lg.jp

＼知っていますか？／

ヤングケアラーのこと



愛知県

ヤングケアラーって、どんな人のことを言うの？



Aさん中学2年生の場合



元ヤングケアラーの声

本当は遊びに行きたいけど、遊びに行けなかった。授業中に寝てしまうことが増えて、学校の先生が気づいてくれた。

Bさん高校2年生の場合



元ヤングケアラーの声

こども食堂がきょうだいを連れて行ってもよい勉強場所になった。自分が勉強している間、きょうだいの面倒を見てくれた。

愛知県の実態調査で分かったこと

愛知県が行った実態調査では、中学2年生の約9人に1人、高校2年生の約14人に1人が世話をしている家族がいることが分かりました。

この中には、家族の世話を毎日のように行っていて、生活に支障が出ている「ヤングケアラー」が含まれています。また、70%程度の子どもが「ヤングケアラー」という言葉を知らないと回答しています。



もしかして：



ヤングケアラーのイメージ例



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている



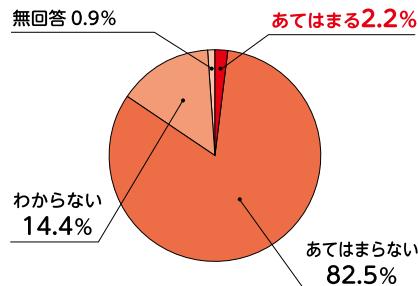
アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



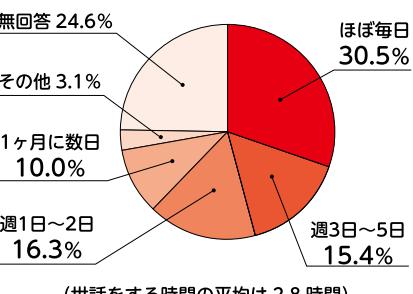
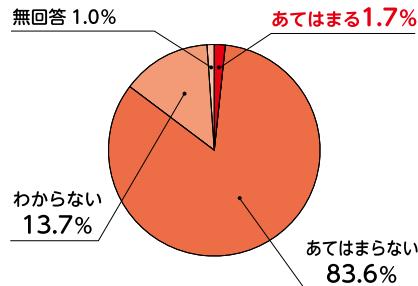
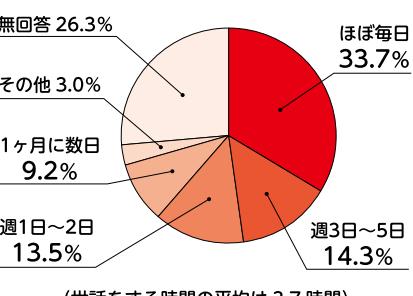
家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている

もしかしてヤングケアラーかも？愛知県の子どもたちの声を調査

あなたはヤングケアラーにあてはまりますか



家族のケアをする頻度



大変だったこと、つらかったこと

- とにかく家事などの役割が多かったので、常に身体が疲れていた。
- 友人と自分の生活が異なることに対し、劣等感を感じていた。
- 受けとめてくれる大人が近くにいて欲しかった。



お手伝いとの違い？

- 家族のケアに日常的に相当の時間が必要であり、勉強やクラブ活動、友人との交流に支障が出ていること
- 本来なら大人が判断するようなことを、子どもが判断しなくてはならないような重い責任を担っていること
- 家族のケアを続けるために、将来的に家を出ることが考えられないこと

家のことたくさん担っているあなたへ



ヤングケアラーの問題は、本人や
家族が悪いわけではないよ。



家を家族以外に
頼ってもいいんだよ。

自分の将来を考えるのは、
家族がないがしろにしてることでも自分勝手なこと
でもないんだよ。

ヤングケアラーへのメッセージ

家族のためにがんばっていることはすごいことです。
あなたの夢の実現に向けて、一緒に考えましょう。



学校の先生

あなたや家族が悪いわけではないです。困ったことを
相談するのは弱いわけじゃないよ。友達と遊ぶこと、
学校に行くこと、全部あなたが家族と同じくらい
大事にしていいことです。



地域の人

本当につらいときはつらいと言っていいんだよ。
自分で抱え込まず私たちにも相談してね。



スクールソーシャルワーカー

もし、おうちの方も困ったことがあったり、ご家庭やお子さん
が当たる感じたら、是非ご相談ください。

ヤングケアラーのそばにいるみなさんへ

あのね…

なーに?



もしかして家の事情で
付き合いが悪いのかな、
と考えてみてください。

どうしたの?



じつは…

ただ話を聞くだけで
支えになることもあります。

子どもと関わる大人の皆さんへ

ヤングケアラーの中には、学校がある時間なのに家事をして
いたり、その疲れなどから学校を休みがちになったり、宿題を
忘れたりする子どもがいます。

身边に、「つらそうだな」「ヤングケアラーかも」と感じる
子どもがいれば、まず話を聞いてあげてください。

サポートが必要な場合やどうすればいいか分からぬときは
学校の先生や地域の支援機関への相談や情報提供をお願いし
ます。